

クリタマバチ天敵チュウゴクオナガコバチの西九州における分布

[要約] クリタマバチの天敵であるチュウゴクオナガコバチは1995年現在、島原半島、西彼杵半島南部、平戸島、五島列島を除いた県内地域に分布している。

長崎県果樹試験場・病害虫科

専門

作物虫害

対象

果樹類

分類

指導

九州農業研究第58号

[背景・ねらい]

クリの重要害虫であるクリタマバチの天敵として1979年に中国から導入されたチュウゴクオナガコバチを長崎県内に導入し、天敵による防除体系を確立する。

[成果の内容・特徴]

- ①チュウゴクオナガコバチは、長崎県内には1989年に下県群豊玉町、1990年には大村市に導入した。
- ②1995年現在、チュウゴクオナガコバチは島原半島、西彼杵半島南部（琴海町以南）、平戸島、五島列島を除いた佐賀県よりの地域と壱岐、対馬に分布している。これらは県内の放飼地からの分布拡大というより、福岡県からの分布拡大と考えられる。

[成果の活用面・留意点]

チュウゴクオナガコバチの分布が拡大しているので、せん定後のゴールの焼却は行わず、クリ園周辺に集めて5月下旬まで残し、天敵の保護とそれからの天敵放飼効果を図る。

[具体的データ]

表1 佐賀県西部地域及び長崎県におけるクリタマバチの寄生蜂  
チュウゴクオナガコバチ (T. s) の分布

調査地点	調査園別	調査 ゴール 数	100ゴール当たりの寄生数			
			T. s雄	T. b雄a)	T. 雄	T. 計
唐津市 千々賀	自生	120	25.8	0.8	20.8	47.5
北波多町 古里	栽培	200	21.5	5.5	23.0	50.0
西有田町 栗木	栽培	150	26.0	3.3	17.3	46.7
山内町 三隅坂	栽培	250	21.6	3.2	30.8	55.6
嬉野町 岩屋	自生	210	5.2	4.8	6.7	16.7
塩田町 塩吹	自栽	146	10.3	4.1	10.3	24.7
太良町 大浦	自生	200	8.5	2.0	15.5	26.0
上県町 仁田	栽(自)	198	130.8	0.5	126.3	257.5
豊玉町 仁位	栽(自)	210	69.0	0	59.5	128.6
美津島町 緒方口	栽培	72	4.2	0	5.6	9.7
蔽原町 久田	栽(自)	300	64.0	3.0	71.0	138.0
脇木町 布気	栽培	370	1.6	4.0	7.2	12.8
芦辺町 柳田	栽培	200	0.5	0	2.0	2.5
上五島町 七目	栽培	140	0	2.1	1.4	3.6
平戸市 川内峠	自生	25	0	4.0	4.0	8.0
川平町 瀬戸山	栽培	144	0.7	5.6	1.4	7.7
世知原町 古田	自生	29	3.4	0	3.4	6.8
佐世保市長畑	栽培	150	2.6	0.6	2.6	6.0
波佐見町 岳辺	栽培	104	30.7	12.5	34.6	77.9
彼杵町 駄地	栽培	250	1.2	2.4	4.4	8.0
大村市横山頭1	栽培	200	4.0	0.5	1.5	6.5
大村市横山頭2	栽培	200	5.5	0.5	3.5	9.5
高木町 折山	自生	90	0	38.9	34.4	73.3
高木町 小江	栽培	150	12.7	2.0	18.7	33.3
小長井町 遠岳	栽培	98	5.1	1.0	9.2	15.3
西彼町 芽場	栽培	200	9.5	22.5	34.5	66.5
西彼町 平山	自生	140	0.7	0.7	5.0	6.4
西彼町 小代	自生	100	0	3.0	0	3.0
琴海町 山中	自生	150	0	0.7	0	0.7
北有馬町 椎木谷	自栽	130	0	12.3	25.4	37.7

a) クリマモリオナガコバチ

[その他]

研究課題名：果樹の特殊病害虫発生状況調査

予算区分：県単

研究期間：平成7年度(平成2年～)

研究担当者：大久保宣雄

発表論文等：九州農業研究第58号

残された問題点：未分布地への放飼